

現代文B

教科	国語	単位数	2	学科・学年	商業科3年生
使用教科書	「新編現代文B」(東京書籍)			副教材等	セレクト漢字検定(桐原書店)

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①近代以降のさまざまな文章を的確に読む能力を高めます。
- ②ものの見方、考え方を深め、進んで表現する態度を身に付けます。
- ③朝学習R-timeを通して、漢字力の向上を目指します。

◇ 科目の特色 ◇

さまざまな文章を読んで論理の展開や要旨を読み取ったり、情景や心情、表現を味わったりします。そうした学習を通して視野を広げ、考察力を高めます。また、主体的に自分の考えを発表したり文章にまとめたりします。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	1. 評論1 時代をひらく 2. 小説1 生のかたち	・筆者の考えを手がかりにして自分の生き方を考える。 ・小説を読むことをとおして、自分とは何かという問題について考えを深める。 【前期中間考査】
7 9	3. 評論2 知のゆくえ 4. 詩歌 心のうた	・論理展開に注意して、扱われている問題を正確に捉える。 ・さまざまな詩歌の表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、感性を豊かにする。 【前期期末考査】
10 12	5. 随想 新しい視点から 6. 評論3 明日をみつめて	・逆転の発想を読み、視野を広げる。 ・語句の意味や表現上の特色に注意しながら評論を読む。 【後期中間考査】
1 3	7. 小説2 虚構と真実 9. 詩歌 心のうた	・時代背景や虚構性に注意して小説を読んで、描かれた世界を的確に捉える。 ・比喩などの詩的な表現への理解を深め、詩に込められた作者の心情を味わう。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の五つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心や理解を深めようとしているか。 国語を尊重して、その向上を図ろうとする意欲があるか。
話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめ、目的や場面に応じ、筋道立てて話すことができるか。 話し手の意見や発表を的確に聞き取ることができるか。
書くこと	自分の考えをまとめ、筋道立てて文章を書くことができるか。 目的や相手に応じた適切な文章を書くことができるか。
読むこと	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じてさまざまな文章を的確に読み取ることができるか。
知識・理解	語句の意味を理解し、語彙を豊かにすることができるか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ①授業で活用するプリント、定められた課題
 - ②小テスト
 - ③定期考査
 - ④授業中における学習態度(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)
- また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

名作に触れ、優れた表現を読み味わうことで、言語生活を豊かにし、視野を広げてください。